第1回国際コンファレンス

「アジア各国の金融利用者保護を支える法と経済」の開催について

金融研究研修センターでは、2006年3月3日に慶應義塾大学経済学研究科・商学研究科 21世紀COEプログラムとの共催により、初めての国際コンファレンス「アジア各国の金融利用者保護を支える法と経済」を開催した。本コンファレンスは、タイ、韓国、中国の金融監督機関や大学等から有識者を招聘し、各国における金融利用者保護にかかる取組みの現状及び課題について、各国の経済的背景及び法制度整備等の観点から議論することを目的としたものである。なお当日は国内外の研究者、在京各国大使館関係者等から約70名の参加があった。

当日のプログラムは以下のとおり。

- ・ 当日の概要については、アクセス FSA 第41号（2006年4月：<http://www.fsa.go.jp/access/18/200604.html>）
- ・ 発表資料及び詳細については、FSA リサーチ・レビュー特集号（2006年8月：<http://www.fsa.go.jp/frtc/nenpou/2006.html>）

【プログラム】（総合司会：杉浦宣彦 金融研究研修センター研究官）

[開会挨拶： 五味廣文 金融庁長官]

[基調講演 神田秀樹 東京大学大学院法学政治学研究科教授]

[各国報告Ⅰ 【モデレーター：杉浦宣彦 金融研究研修センター研究官】]

タイ： Chodechai Suwanaporn 財務省財政政策局財政課長

Nat Tapasanan タイ銀行金融機関政策グループ課長

韓国： Kon Sik Kim ソウル大学教授

Sunseop Jung 仁川大学教授

[各国報告Ⅱ 【モデレーター：Woo Chull Chung アジア開発銀行駐日代表事務所長】]

中国： Dong Ansheng 人民大学教授

Tong, Shiping 松山大学教授

日本： 小塚 莊一郎 上智大学教授

杉浦 宣彦 金融庁金融研究研修センター研究官

[ラウンド・テーブル・ディスカッション]

【リードスピーカー：吉野直行 金融研究研修センター長、慶応大学経済学部教授】

各国報告者、James Rhode 政策研究大学院大学教授、柳川範之 東京大学経済学

部助教授等による自由討議

[閉会]

以 上